

令和5年3月23日

甲府市議会議長 興 石 修 様

民生文教委員長 末 木 咲 子

所 管 事 務 調 査 報 告 書

民生文教委員会におきまして、甲府市議会基本条例第18条第4項に基づき、所管事務調査及び政策研究のテーマを定め、調査・研究を進めてまいりました経過と結果について御報告いたします。

令和4年7月26日の委員会におきまして、本市が一丁目一番地として掲げている子ども応援施策について広く調査を行い、施策の更なる充実につなげていくため、今期の調査・研究テーマを「子ども応援施策の推進について」と決定いたしました。

同年8月24日の委員会におきまして、当局から「子ども応援（子育て応援）施策の推進」について説明を受け、質疑を行い、本市の子ども応援施策の中核である子ども応援プラットフォームについて理解を深める中、更なる推進に当たっては、子育て応援の取組環境の充実や子育て応援者・子ども応援団体の連携強化といった課題があることについても共有いたしました。

同年10月12日から14日までの日程で、埼玉県草加市、群馬県太田市・高崎市、新潟県長岡市への行政視察を実施し、子どものいじめ防止対策や、子育て世代の声に応えた所得制限なしでのヘルパー派遣サービス、世代間交流の場としても機能する全天候対応型の子育て支援施設の整備等について調査を行いました。

同年11月21日の委員会におきましては、行政視察の調査結果を踏まえ委員間討議を行う中で、「アプリやメール等を活用した市民からの意見聴取を実施してはどうか」との意見がありましたが、検討の結果、アンケートの質問項目については十分な時間を掛けて準備を行う必要があるため今期での実施は見送ることとなり、代替案として、各委員が市民から直接聴取した意見を持ち寄ることといたしました。

その後、令和5年1月30日の委員会におきまして、市民からいただいた「子どもの居場所づくりが必要」、「不登校特例校の設置を検討してもらいたい」、「子どもが読書習慣を身に付けられるよう取り組んでもらいたい」、「小学生のランドセルが重すぎる」、「物価高等に伴う経済的な支援が必要」などの率直な意見を通じ、それぞれの立場における当事者が様々な悩みを抱えている現状について委員間で認識を共有いたしました。

今期のテーマとした「子ども応援」には多岐にわたる項目が含まれますことから、委員間の討議におきましても、いじめや不登校、子どもの居場所づくり、ヤングケアラーなどをはじめとする、現在の子どもを取り巻く様々な課題について熱の籠もった議論が交わされたところであります。

民生文教委員会といたしましては、本市における子どもたちの複雑・多様化した諸課題の解決に向け、市民の声を速やかに取り入れることができるような仕組み等を検討していくなど、より一層市民のニーズに裏付けられた事業を推進していくとともに、行政と民間、また民間相互の連携機会を創出する仕組みである子ども応援プラットフォームにつきましても、更なる充実・発展に取り組んでいくことが必要であると実感し、今後の委員会活動に活かしていくことといたしました。

以上、報告といたします。